ゆりぐみだより

２０２４年度　１０月号

尚徳福祉会　おぐら保育園

秋も深まり園庭の木々の落ち葉や枯れ葉を手にしては、秋の自然の変化を感じ取っています。いろいろな遊びや経験を重ね、子どもたちはぐんと成長する時期です。自分の思いをみんなの前で言えるようになってきたり、イメージを持って遊び始めたり、またそれを共有することで遊びの幅が広がりを見せています。子どもたちの成長を見守りながら、日々の保育を楽しく繰り広げていきたいと思います。

☆ジャブジャブ～パート２～☆

延期となっていた【すいか割り】【シャボン玉】【ボディーペインティング】をしました。すいか割りは、目隠しをして行い友だちに『右、右、左』と案内され、すいかに棒が当たると喜び、すいかに当たらないと『あー当たらなかった』と悔しがり『もう一回』と再挑戦しようとする姿も見られました。無事にすいかが割れると『おいしそう』と言っていました。その後園庭に移動をしボディーペインティング、シャボン玉を行い、シャボン玉ではやり方を知らない子が多くやり方を伝えると『でたー』と嬉しそうでした。是非、お家でもやってください。楽しかったジャブジャブランドは終わりましたが、今後も子どもたちが楽しいと思える保育をしていきたいと思います。

☆サンマの写生☆

サンマの写生をしました。初めにサンマについて話しをしましたが、ほとんどの子がサンマのことを知りませんでした。しかし、サンマの絵などを見せていくと『なんか見たことある』『食べたことある』と話していました。目の前にサンマがくると『なんかくさい』『おいしそう』など反応がさまざまでした。実際にサンマの写生をしていくと『目が黄色だ』『少しうろこがついている』『少し青っぽい』とじっくり観察をし、サンマの周りには、紅葉の葉っぱをつけて完成しました。最後には給食の先生がサンマを焼いてくれて『いいにおい』『さっきと匂いが変わった』と変化にも気がつき『おなかすいてきた』『今日のご飯サンマがいいな』と話していました。

☆運動会☆

【失敗しても大丈夫】【やればできる】をスローガンに頑張ってきた運動会。当日は全員で参加することができ、力いっぱいの活躍を見せてくれました。登園をすると、少しそわそわしていた子どもたち。『なんか緊張するね』『ドキドキするね』と話していました。太鼓の衣装を着ると目つきが変わり真剣モードとなり、堂々と園庭で太鼓を披露することができました。最後のリレーでは『絶対勝つ』と張り切って入場しました。どの子も気合が入っていて、練習の時以上に早く走ることができました。運動会を通して、できなかったことができるようになり、「できた」と笑顔に変わる場面をいっぱい見させてもらいました。たくさんの頑張りの成果で運動会ではどの演目も格好よく、自信に満ちた表情でご家族の方に見てもらうことができました。「できない」を「できた」に変えた子どもたち。運動能力や体力の身体的なことはもちろん、心も大きくたくましくなったと感じています。また、一つの目標に向けて皆で頑張ることができたこと、そしてそれを成し遂げることができたということが、この運動会で得た何よりの成果ではないかと思います。ご家族の方には運動会に向けて体調管理やたくさんの励ましや支え、当日はあたたかい応援や拍手をありがとうございました。